

1 物流経費削減のため、フリワーセンター飯能DCの機械化を進めます。

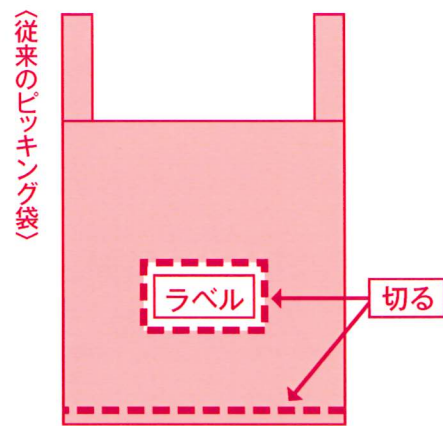
今までピッキング袋は33人の作業員が手で広げ、ラベルも手貼りしていました。しかしこの秋、飯能DCに「自動袋がけ装置」を導入。ピッキング袋の投入と配達情報の印字を自動化することにしました。



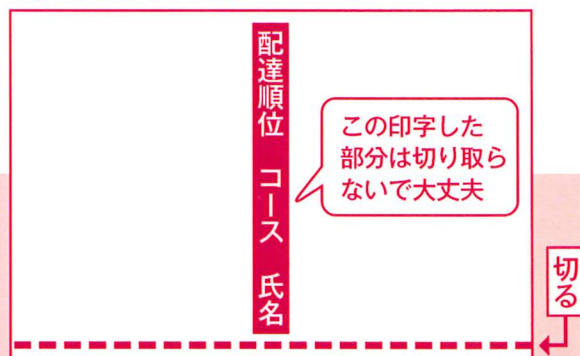
2 機械の導入により、ピッキング袋の形状が変わります。

機械化にともなって、袋の取っ手がなくなり、横長の四角い袋に変わります。物流経費の削減は生協事業にとって大きなテーマです。今まで通り回収への参加もあわせて、ご理解とご協力をお願いします。

※野菜の袋の形状は変わりません。ピッキング袋が変わるのは飯能DC品のドライ(常温)品、冷蔵品、冷凍品、季節品(生活用品)だけです。



<新しいピッキング袋>



10月から ピッキング袋が 変わります。



※切り替えは、10月~11月にかけて順次行います。

回収は
継続します!
(従来のピッキング袋も)
回収します

eco

3 こうなる! 新ピッキング袋

▶ここが変わります

- ①袋の形状が変わります。
取っ手がなくなり、横長の四角い袋になります。
- ②袋の厚さが変わります。
新しい袋は12 μ (0.012mm)と薄くなります。
現在の袋は18~23 μ (ミクロン)。
- ③ラベルを切り取る必要がなくなりました。
⇒袋に貼っていたラベルがなくなります。
配達順位、コース、氏名などは、袋に直接印字されます。



▶ここは変わりません

- ①ピッキング袋はこれまで通り回収します。
野菜の袋と一緒に出して下さい。
- ②異物混入を避けるため底を切るのは継続してください。

4 持ち運びにはエコバッグ をご利用ください。

袋が薄くなり、強度が落ちています。また取っ手がなくなり持ち運びにくくなります。配達ポイントからの持ち帰りには、エコバッグなどを活用してください。



生活クラブの「リユース」と「リサイクル」

生活クラブでは天然資源を有効活用し、CO₂の排出を抑えて環境負荷をより少なくするため、ペットボトルや紙パック等を使わず洗って繰り返し使えるリユースびんを使います。また使用量の多い牛乳キャップやピッキング袋は、回収してマテリアルリサイクルをしています。

900mlと500mlのRびんは回収率90%の達成までもう少しです。ご協力ください。



生活クラブのリユースとリサイクル

リサイクル

●牛乳キャップとサイドスカー

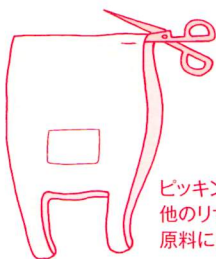
洗って乾かして、配達時に出しましょう(他のキャップは混ぜないでね)。



キャップ5個からごみ袋1枚を作ります。

●野菜のピッキング袋

野菜のピッキング袋は紙ラベルを切り取り、底を切って出しましょう。その他のピッキング袋は底を切るだけでOK。



ピッキング袋や他のリサイクル原料にします。

リユース

●Rびんと牛乳びん

よく洗ってから配達時に出してください。びんの口などを傷つけないように気をつけて。



中に物を入れないでね。

回収すれば節約できる！「再商品化」費用

家庭で使い終わった「容器包装」は自治体が回収し、リサイクル(再商品化)しています。ここで必要となる費用を「再商品化費用」といいます。

①未回収の場合に支払うことになる再商品化費用(見込値)

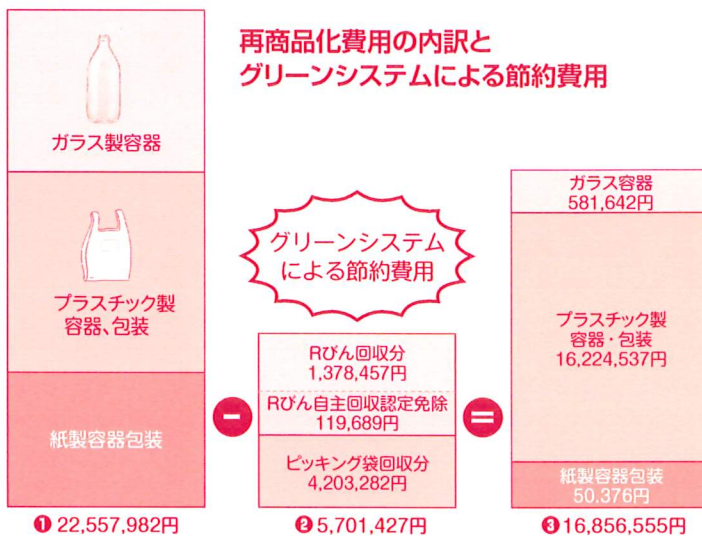
使い終わった容器包装のリサイクル(再商品化)費用は、生産者が負担することが基本です。が、Sマークやリングマークの消費材については生活クラブ連合会が負担しています。何も回収しない場合、その費用は22,557,982円になります。

②グリーンシステムで節約できた再商品化費用

Rびんやピッキング袋を回収して、独自にリユース・リサイクルをすることにより、この費用を5,701,427円払わないで済んでいます。

③最終的に支払うことになる再商品化費用

2012年度に生活クラブ連合会が支払うことになる再商品化費用は、16,856,555円です。



自治体とはここが違う！生活クラブのリユース

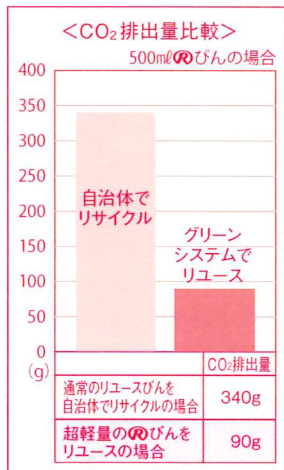
①回収コストがこんなに違う

リユースなら0円!!自治体回収では60円/kg。



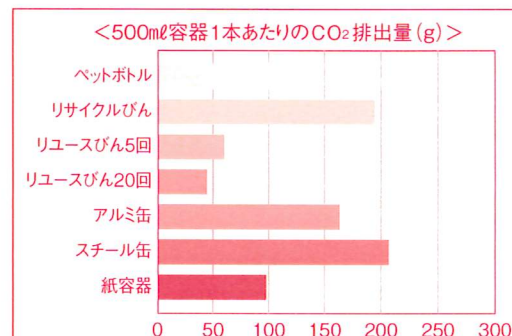
②CO₂排出量がこんなに違う

リユースでは壊さずにくり返し使います。



③いろいろな容器のCO₂排出量は?

びんのリユースは、水を汚さない、CO₂の排出量が少ないなど、様々な点で優れていることが分かっています。



データ：LCA手法による容器間比較報告書より
リユースびんの5回、20回は再使用回数で、再使用5回は回収率80%、再使用20回は同95%に相当します。